

アライドテレシスホールディングス株式会社 年頭所感

2009年1月

「先進グローバル企業として飛躍の年に！」

新年あけましておめでとうございます。

昨年は金融危機から各国財政悪化が起こり、国際的に厳しい経営環境となっております。IT投資においても需要の縮小により、各企業で予算の見直しや費用対効果をさらに求めていくこととなります。しかしながら、われわれが提供するネットワークシステムは、社会インフラとして既になくてならないものとなっております。情報の緊密性やグローバルなコミュニケーションが発揮され、コスト削減にもつながるため、今後ますます重要な鍵となります。先進国では、既にネットワーク環境が広がっているため、今までのネットワークを停めることなくギガ・ネットワークへの移行が進みます。また、厳しい経営環境の中ではコストパフォーマンスに優れたシステムの必要性がさらに高まります。新興国でも、経済成長は鈍化しつつも、高度なネットワークシステムの需要が高まると考えております。

アライドテレシスグループは、既に高い技術力でコストパフォーマンスの優れたネットワーク製品を多く販売しております。また、世界 21 カ国以上に販売拠点を有するグローバル企業として、一般企業をはじめ、医療施設、教育機関、公共機関等にネットワーク機器を提供しております。

この世界的な経済危機の中で、社会インフラとして必要とされるネットワークシステムは、世界的に競争力の高い当社にとって、絶好の機会と考え、

- 1、よりコストパフォーマンスの優れた製品を販売
- 2、高度なネットワーク・ソリューションを提案
- 3、きめ細かい顧客サポートを提供
- 4、グローバルな市場を相手に競争力の強化

を基本に、今まで以上に飛躍する年としていきます。

アライドテレシスグループは、常に、お客様に満足を与え、信頼される企業を目指し、豊かな情報化社会の基盤構築に貢献してまいります。

以上

アライドテレシスホールディングス株式会社

代表取締役会長 大嶋 章禎